

都道府県との連携協定における 熱中症対策について

大塚製薬株式会社
ニュートラシユーティカルズ事業部

25年以上にわたる熱中症対策啓発活動

1980年

“飲む点滴”を開発コンセプトとし、人間のカラダに適した水分補給のための**イオン飲料「ポカリスエット」**を発売。



1984年

佐賀栄養製品研究所を設立

日本初の民間の臨床運動栄養研究所として設立。

発汗による水分・電解質をすばやく補給する飲料の研究を続け、様々なシーンにおける科学的根拠を創出。

1991年

日本体育協会「スポーツ活動における熱中症事故対策に関する研究班」設置。

こちらがきっかけとなり、熱中症を知って防ぐ 活動への協力を開始。

1992年～

全国で**「社員が現場に出向く出張講座」**を実施。

子どもたちのスポーツシーン、職場での労働安全衛生、高齢者の水分補給など、テーマを拡大し、

全国で年間約5,000回以上、約500,000人に対して、社員が講師として直接啓発活動を行っている。



社員による熱中症セミナー

大塚製薬として1992年から熱中症セミナーを実施。
現在まで、約19.5万回/約2,210万人の方々への情報提供。



包括連携協定

自治体と連携・協働し地域住民の
健康づくりの一助として全国で活動

＜協定締結＞

- ・47都道府県
- ・133市区町村



＜主な協定項目＞

- ・健康増進、食育推進活動
- ・教育文化への貢献
- ・熱中症対策・災害対策支援
- ・スポーツ振興 等

* 2020年6月末時点

健康課題の解決に向けて社会連携を推進

自治体と連動し、独自ポスター作成

大阪府

 大阪府 × 大塚製薬

大阪府と大塚製薬は、包括連携協定を締結し、熱中症対策に取り組んでいます。

なめたらあかん! 熱中症

熱中症対策は
こまめな水分 + 電解質補給
が大切

熱中症対策は0.1~0.2%の体温上昇またはナトリウム40~80mg/100mlのスポーツ飲料を摂取しましょう。
(既存分野で監視に該当する熱中症予防について)

大阪府からのお知らせ

ご存知ですか?
昨年、熱中症によって救急搬送された方の数は、全県で5万412人(大阪府3,690人)のうち、106名(大阪府3名)の方が命を落とされています。

熱中症予防のために府民のみなさんへの3つのお願い

- お願いその一
こまめに水分・塩分を補給してください!
- お願いその二
暑さを避けてください!
※外出時はなるべく朝早く、日暮をさしたる等をおこないましょう。
- お願いその三
猛暑日は、
日中の外出ができるだけ控えましょう。



熊本県



静岡県藤枝市



沖縄県



長崎県

学校、保健所、行政機関、スポーツ施設、スーパー・ドラッグストア店頭等に掲示

自治体連携を活かした熱中症対策活動

地域生活者へ確実に情報を届ける体制づくりを模索



自治体+大塚製薬

学校

教育委員会

高齢者

地域包括支援センター



【学校】 今夏の教育委員会との取組み

教育現場で活用できるコンテンツを提供

教育委員会

教員関係者

熱中症対策アドバイザー



学校教員から
生徒・教職員に情報拡散



学校

校内放送用CD音源配布



子どもたちへの
熱中症啓発を促進



【学校】熱中症対策アドバイザーの活用事例

生徒による予防教育の自走化を支援

学校保健師

熱中症対策アドバイザー 取得



保健委員(生徒)

今夏の課題と予防策を自己学習



学校内での「校内放送」「保健だより」を活用した情報提供を実施

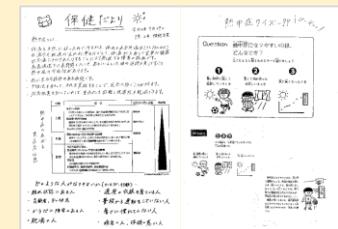
校内放送テーマ

- ・暑い日のマスク着用
- ・熱中症大丈夫？
- ・感染症対策



保健だより

- ・保健委員による作成
- ・校内放送との連動



【学校】 校内放送による熱中症啓発

教育委員会を通じた案内により実施校数が拡大

教育委員会から音源CD配布

基礎自治体（区・市）
教育委員会

都道府県
教育委員会



小学校



中学校



高等学校



実際の実施風景

音源CD



放送部員用
台本



約4,000校配布済み

出典：千葉県立市川昂学校HP

【高齢者】自治体との情報提供活動

コロナ禍で顕在化した**健康課題解決**のための情報提供

巣ごもり熱中症



感染症対策



生活不活発



自治体



Otsuka



自治体職員



民生委員



調剤薬局
薬剤師



エリア
小売店



地域包括支援センター



コロナ禍により顕在化した熱中症リスク

「巣ごもり熱中症」情報の提供

**2020年夏は、
「巣ごもり熱中症」に注意!!**

巣ごもり熱中症とは
巣ごもり生活で暑さに慣れていないために引き起こされる熱中症を、「巣ごもり熱中症」と呼びます。汗を上手にかくことができず、体に熱がこもりやすくなっている今年は、屋内外を問わず熱中症のリスクが高まっています。

気を付けたいシーン

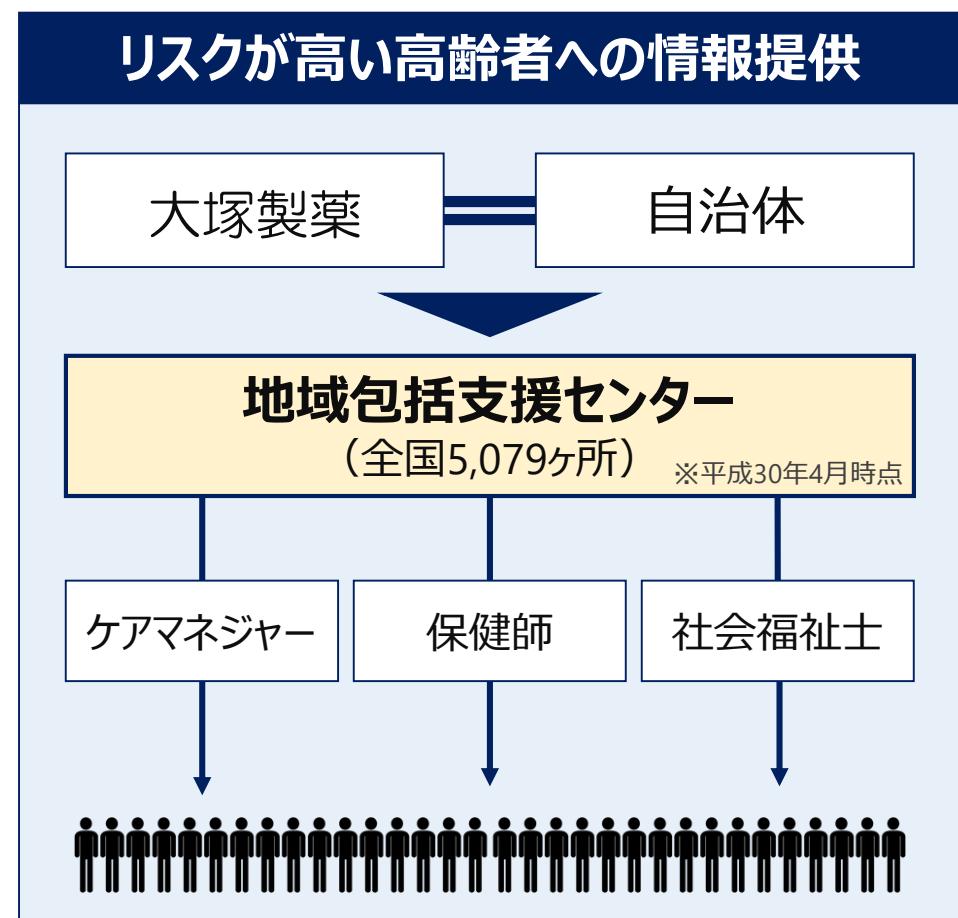
屋内	屋外
・換気による室温上昇 ・空調の不使用 ・外出自粛による孤立	 巣ごもり熱中症 ・急に暑くなった日 ・久しぶりの外出時 ・身体活動時

⚠️ 高齢者は特に注意！
高齢者は、加齢により身体や感覚機能が低下することで、発汗量が減ったり、暑さやのどの渴きを感じにくくなるため、熱中症発症のリスクが高いと言われています。また、熱中症の危険サインに自分から気づくことが難しいため、周囲の人達の目配りと適切な対策が重要です。

⚠️ 「巣ごもり熱中症」対策のポイント

 暑熱順化 暑さに強い体づくり	 水分+電解質 こまめな補給が重要
 深部体温冷却 アイスラリー®も有用	 暑さを避ける工夫 温度と湿度に注意
 *アイスラリーとは アイスラリーは細かい氷の粒子が液体に分散している状態のこと。 凍っているのにトロミがあるため、冷たい喉越しが長続きする特長があります	

Copyright © 2020 Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.



【高齢者】 健康弱者への情報拡散

自治体を通じて地域包括支援センターと協働



新たな情報拡散ルートの確立を目指す